

## 行政評価事務事業一覧

### 【まちづくりの目標6\_地球環境・生活環境・上下水道】

#### 施策 6-4\_上下水道事業の推進

基本計画		事業番号	細事業名称
6-04-03	下水の安定処理	04066_01	一般下水路整備事業
6-04-03	下水の安定処理	04120_01	排水ポンプ場等施設整備事業
6-04-03	下水の安定処理	04270_01	汚水共同処理負担金

## 令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	04066_01		
事業名(行目名称)		一般下水路整備事業	細事業名	一般下水路整備事業			
総合計画	まちづくり	地球環境・生活環境・上下水道	施策	上下水道事業の推進			
	基本計画	下水の安定処理	担当課	河川水路課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	全市民		数値	120351人		
	手段(どうやって)	河川パトロールや市民要望をもとに緊急性や公共性の高いものを抽出し、優先順位を検討しながら効果的な整備を実施する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	一般下水路施設及び普通河川施設について、排水機能の向上や回復を行い、浸水対策及び生活環境の改善を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		95,571	80,000	100,000	97,662	○旅費 100千円 ○需用費 3,600千円 ○委託料 20,700千円 ○工事請負費 50,000千円 ○原材料費 60千円 ○負担金補助及び交付金 40千円 ○補償補填及び賠償金 5,500千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債	4,700	0	58,200	55,000		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	90,871	80,000	41,800	42,662		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
市民要望対応率(%) = (要望対応箇所数/要望数) × 100 ただし、要望数は過去5年分を対象とする		目標値	60	60	60	60	60
		実績	65	63	63	60	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
近年局地的大雨及び台風に起因する異常出水が全国的に頻発し、浸水対策について市民の関心が高まっている。また、流域治水プロジェクトをはじめとする、国及び県による積極的な政策展開が行われている。当初予算の不足により緊急性が高い箇所の河川改良工事を発注できない状況であったが、9月補正予算により、工事発注を行うことができた。また、河川に係る改良工事について、今年度より緊急自然災害防止対策事業債を活用することとしている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
近年の市民要望件数を勘案すると、現段階では事業費の増減に関する変更は特に必要ないと考える。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和4年度)	C: 事業規模・内容・実施主体の見直し検討				
パトロールや市民要望を基に緊急性の高い箇所を中心に事業を実施した。令和4年度より新たに緊急自然災害防止対策事業債を活用し、河川施設の整備改良に係る財源の確保に努めた。また、緊急浚渫推進事業債を活用し、普通河川の堆積土砂の撤去を推進した。							

## 令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	04120_01		
事業名(行目名称)		排水施設整備事業	細事業名	排水ポンプ場等施設整備事業			
総合計画	まちづくり	地球環境・生活環境・上下水道	施策	上下水道事業の推進			
	基本計画	下水の安定処理	担当課	河川水路課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	排水区域内居住の市民	数値	31667			
	手段(どうやって)	市内25箇所に配置されている排水ポンプ場の施設整備について、優先順位を付けた上で実施していく。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	各排水ポンプ場に設置されている機器の適正な整備を実施することにより排水ポンプ場の機能確保を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		29,226	44,867	44,867	44,539	排水ポンプ場水中ポンプ等整備工事 31,918 新磯浦排水ポンプ場水中ポンプ更新工事 4,400 多喜浜排水ポンプ場電動バタフライ弁更新工事 7,524 排水ポンプ場電気設備改修工事 1,025	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	29,226	44,867	44,867	44,539		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
機器整備箇所数		目標値	3	11	8	10	11
		実績	3	9	8	9	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>新居浜市のポンプ場は多くの機器が老朽化しているが、適切な時期に更新を行わず、最近ではポンプ場の主要な機器においても突発的な故障が頻発し、当初計画していた機器を整備更新することが困難となっている。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
<p>機器の故障が発生してからでは修理に時間を要することから、天候に左右される排水ポンプ場の運転に重大な支障を及ぼす恐れがある。このため、老朽化した機器については定期的な点検・メンテナンスを実施し、機器が故障する前にその予兆を把握、事前に修理・更新を行うことにより、ポンプ場の機能を適正に保つことが必要であり、予算を拡大して事業を推進する必要がある。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
<p>本年度も継続して予定通り機器整備を行うことができたが、設備が老朽化している排水ポンプ場がまだ残っていることから、今後も継続して事業を推進し、施設機能の確保を行っていく必要がある。</p>							

## 令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	04270_01		
事業名(行目名称)		汚水共同処理負担金	細事業名	汚水共同処理負担金			
総合計画	まちづくり	地球環境・生活環境・上下水道	施策	上下水道事業の推進			
	基本計画	下水の安定処理	担当課	財政課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	116052			
	手段(どうやって)	衛生センターにて処理していた、し尿・浄化槽汚泥について、市下水道処理場において共同処理することとなり、上下水道局に対して処理経費にかかる負担金を支払している。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	し尿等処理施設の統合による施設管理経費の削減を図る					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費			218,929	218,929	218,929	○負担金補助及び交付金 218,929千円	
財源	県・国支出金		0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他		0	0	1,000		
	一般財源		218,929	218,929	217,929		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
上下水道局への適切な負担金の支出(%)		目標値			100	100	100
		実績			100	100	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
課題等は生じていない							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
下水道処理場においてし尿等の共同処理を継続的に実施していくには本負担金の支出が必要であることから、本事業については現状を維持していく							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当				
下水道処理場における共同処理により、し尿等が問題なく処理された。今後においても、本事業の継続が必要である。							